

教科書通りのきれいごとは終わりにしよう。

地域共創の泥臭いリアルを語る交流会

2026.7.6

15:00-17:30

QUINTBRIDGE 2F

宮崎岩一
八丈島復興プロジェクト
「八水興」

服部英喜
ソーホージャパン

湯川竜成
モリンガルウィン
学生起業家

豊田悠
NTTビジネスソリューションズ

中村幸弘
日本テレワーク協会

下川 哲平
NTT西日本
QUINTBRIDGE

EVENT | QBR共催 | 〇 一般参加可能

地方共創の泥臭いリアルを語る交流会 ~教科書通りのきれいごとは終わりにしよう~

開催日：2026年7月6日(月)15:00~17:30

共催：一般社団法人日本テレワーク協会 / ソーホージャパン株式会社 / QUINTBRIDGE

教科書通りの「地方創生」、まだ信じていませんか？

「支援する側・される側」という関係、そろそろ終わりにしませんか？教科書通りのきれいごとはもう終わり。本イベントは、地域と都市がフラットに開わり、共に稼ぐ「地方共創の泥臭いリアル」をぶつけ合うミートアップです！八丈島でモリンガ栽培に挑む学生起業家の熱量や、現場を知り尽くした漁協のドンが語る本音、Zohoジャパンの地域実装の裏側などを、怒涛のショートピッチでお届けします。

QUINTBRIDGE×JTA（日本テレワーク協会）の初タッグで、大阪から新しい地方共創をプテ上げましょう！後半は熱狂の交流会。意気投合したら、そのまま2次会へGO！本気で地域ビジネスを創りたいみなさま、リアル会場でお待ちしています。

イベント概要

- 日時：2026年7月6日（月）15:00~17:30
- 場所：QUINTBRIDGE 2F
- 定員：50名
- 費用：無料
- 共催：一般社団法人日本テレワーク協会 / ソーホージャパン株式会社 / QUINTBRIDGE

■スケジュール

- 1) オープニング・主旨説明
- 2) セッション
 - ①『地方共創の火種は八丈島から。脱炭素・関係人口・働き方DXを掛け合わせるJTAの挑戦』
一般社団法人日本テレワーク協会（JTA） 主席研究員 兼 共創部長 中村幸弘 氏
 - ②『よそ者の学生が八丈島でモリンガを育てる理由～地域ビジネスのリアルとスタートアップの挑戦～』
株式会社モリンガルウィン（学生起業家） 湯川竜成 氏
 - ③『本当の地場企業としてのソーホーの取り組み（仮）』
ソーホージャパン株式会社 事業部長 服部 氏
 - ④『聖地巡礼観光で目指す「地域の豊かな暮らし」』
（登壇者調整中）
- 3) パネルトーク&会場巻き込みセッション
八丈島復興プロジェクト「八水興」代表 宮崎岩一 氏、他登壇者
モデレーター：QUINTBRIDGE 下川哲平
ここでオンライン配信終了
- 4) リアル交流会

お申込みはこちら▼

<https://www.quintbridge.jp/event/detail/202606111328.html>



登壇者



中村幸弘

一般社団法人日本テレワーク協会 (JTA) 共創部長 兼 主席研究員

NTTドコモにて法人営業・マーケティングの要職を歴任後、経営企画部門にてサステナビリティ事業を創出。2023年より環境省にて国民運動「デコ活」の事業開発に従事し、官民連携による社会変革を牽引してきた。現在は、日本テレワーク協会 主席研究員 兼 共創部長として、時間と場所を有効活用する「働き方DX」を提唱。また、新宿区市谷本村町の町会長という顔も持ち、ビジネス、行政、地域という異なる領域を「共創」の力で繋ぎ合わせるスペシャリストとして、多角的な視点からアドバイスを行う。



宮崎岩一

八丈島復興プロジェクト「八水興」代表 / 八丈島漁業協同組合 理事 / NPO法人八丈島産産育成会 理事長 / 一般社団法人トワイライト・オーシャン研究機構 理事

八丈島漁業協同組合の理事として現場を支えるとともに、八丈島復興プロジェクト「八水興」代表、NPO法人八丈島産産育成会として島の産業全体の底上げに取り組む地域ビジネスのキーマン。地域と都市のプレイヤーが変わる場において、受け入れ側である「地域住民のリアルな声」を代弁する存在。本イベントのパネルトークでは、これまでの豊富な経験をもとに「地域と外部はどうフラットに接すべきか」「よそ者が地域で信頼を得るための条件とは何か」を赤裸々に語る。時に厳しく、時に温かい言葉で紡がれる熱いトークは必聴。地方共創の「リアルな火種」を求める参加者に対し、机上の空論ではない手触り感のある実践論をぶつける。



湯川竜成

株式会社モリಂಗールウィン (学生起業家)

東京農工大学大学院 国際食料農業科学研究所にて、八丈島産モリंगाを事例に新規作物導入と地域普及を研究。東京都・八丈島でモリंगाを育てる新米農家として、一次産業から日本の眠れる魅力を輝かせることを志す。現在は、The Tokyo Moringaを展開する株式会社モリಂಗールウィン 初代代表取締役、Cosmo Hub DAO 合同会社代表、学生団体 Viven Vivid Earth Network 創設者など、複数の活動を牽引。さらに、八丈島産モリंगाを軸にしたキッチンカー「Foreore cafe stand」の立ち上げを通じて、地域の賑わい創出や復興、島の魅力発信にも力を注いでいる。大学までサッカーに打ち込み、そこで培った行動力、粘り強さ、チームで目標に向かう姿勢を原動力に、「心が躍るほうへ」「共生共栄」を掲げながら、人・地域・自然の循環を生み出す共創型リーダーとして挑戦を続けている。



服部英喜

ゾーホージャパン株式会社 執行役員Zoho事業部長

大手外資系IT企業にてインサイドセールス、マーケティング、ハイタッチセールス、営業部長、営業本部長を歴任。国内ERPパッケージメーカーに営業担当役員として就任し、業績の大幅向上に努め黒字化に貢献。2025年4月にゾーホージャパンに営業責任者として入社し、2025年8月より執行役員Zoho事業部長として成長事業を統括。



豊田悠

NTTビジネスソリューションズ株式会社 主査

人口150人の離島・男木島では、署名運動を元に学校を再開させるなど衰退から活性化への道を歩み始めています。明治28年建設の有形文化財灯台をはじめとする島の日常風景がアニメの舞台となったことを機に、NTT西日本グループは聖地巡礼観光をご支援してきました。本ピッチでは、この「地域の想い」とNTT西日本グループの「デジタル実装力」を掛け合わせた共創モデルを元に「地域の豊かな暮らし」への貢献を目指します。



下川哲平

NTT西日本 ミライ事業共創室 / QUINTBRIDGE オープンイノベーションデザイナー

愛知工業大学工学部機械工学科卒業後、2001年遠藤照明入社。照明用光学開発、設計プロセス改革、商品企画向けイノベーション教育に従事。2021年NTT西日本入社・現職。大阪京橋に開業したオープンイノベーション施設「QUINTBRIDGE (クイントブリッジ)」にてビジネス共創の支援をおこなう。パレルキャリアとして、製造業専門コンサルタント。関西設計管理研究会 副会長。関西学院大学IBA傘下のイノベーション研究会運営。奈良県天川村で勝手に始めた有志活動メンバー。八尾市某小学校PTA会長。許麻神社 氏子総代。